

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

さいかいとうき
西海陶器株式会社

こだまけんたろう
代表取締役社長
児玉賢太郎氏

取引店／十八親和銀行 波佐見支店

日本でも有数の陶磁器卸売業者
波佐見焼を日本全国や海外へ販売

400年の歴史を持つ波佐見焼は、実は20数年前までは「波佐見焼」という名前では流通していませんでした。波佐見でつくられる焼き物は「有田焼」として流通していたからです。ところが2000年ごろに産地表記の基準が厳しくなり、「波佐見焼」として新たな道を歩んでいくこととなりました。

当社は波佐見焼を生産者から仕入れ、日本全国の小売店などへ販売する総合商社です。1991年にはシンガポールに現地法人を設立し、以降アメリカ、中国、オランダの4か国に現地法人を有しており海外事業にも力を入れています。



SAIKAI SHOWROOM

窯元を子会社化

生産から販売まで一貫体制を構築

波佐見焼では、全国でも珍しい分業体制による生産を行っています。製造工程が細かく細分化され、各工程を別々の事業者が行うため、波佐見町全体が波佐見焼の生産工場のようになっています。ただし一部の分野においては高齢化や後継者がいないなど様々な問題を抱えています。

当社では後継者不在となった窯元から事業を承継し、株式会社高山たかやまを設立しました。今後同社で西海ブランドの商品を生産することで生産から販売まで一貫した体制を構築していきたいと思っています。

波佐見町とともに発展したい
という想い

当社には創業から「地域業界の発展が、ひいては自社の発展に」という理念があり、それはこれまで当社を発展させてきた先人たちの想いでもあります。その想いは最近始めた自社メディア「Hasami Life」にも通じます。「Hasami Life」では当社の商品だけでなく、文化・人・自然など、波佐見に関する色々なコンテンツを

発信しています。歴史の重みや先人たちの試行錯誤、焼き物・地元に対する誇りなど、これらの物語が波佐見焼の価値を高めていくと考えています。

大切にしたいのは、モノの売買だけでは得られない、心に響くモノづくりです。波佐見では「クラフト(窯業)・ツーリズム(観光事業)」という新しい挑戦が始まっています。波佐見でしかできない体験を通じて、世界中に波佐見のファンを増やしていく取り組みです。

私の夢はそんな「波佐見」をサステナブルな町・世界の「H.A.S.A.M.I」へブランドを築くこと



グリーンクラフトツーリズム研究会にて企画・当社が運営している「西の原」



(FFG) ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の記念楯を贈呈
(右から児玉社長、十八親和銀行波佐見支店 一ノ瀬 前・支店長)

です。そのために私たちはより深く波佐見のアイデンティティを追求していかなくてはならないと思っています。

20数年前に自分たちの焼き物のアイデンティティを探し、世界の「波佐見焼」ブランドへ成長させた先人たちの歩みと同じように、私たちの歩みもまた波佐見の歴史に刻まれていきます。

焼き物を通して遠い昔や未来、世界と繋がる、この小さな町の可能性は無限大だと思います。これから描いていく波佐見の新しい町のカタチ、それが私が次世代へ繋ぐ「バトン」です。

西海陶器グループ

■西海陶器株式会社 / 陶磁器製品の元卸、加工業、輸出入業、日用品・インテリア用品の販売
〒859-3701 長崎県東彼杵郡波佐見町折敷瀬郷2124 0956-85-5555

関連会社

- 東京西海株式会社 / 陶磁器製品や日用雑貨などの企画・製造・販売
- 株式会社高山 / 陶磁器製品の製造・販売
- SAIKAI TOKI TRADING INC. / アメリカの現地法人・陶磁器卸売
- SAIKAI TOKI TRADING PTE LTD. / シンガポールの現地法人・陶磁器卸売
- DALIAN SAIKAI TRADING CO.,LTD. / 中国の現地法人・陶磁器卸売・販売
- SAIKAI TRADING B.V. / オランダの現地法人・陶磁器卸売

公式ホームページ



FFG公式チャンネルの「九州社長メン」でもご紹介しています



FFGでは企業のESG/SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
ソリューション事業本部 インダストリーカバレッジグループ
■お問い合わせ: TEL.092-723-2525

サステナビリティに関することは何でも
ご相談ください

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

有限会社ザブ・テック

代表取締役
あかしりょうた
赤司 亮太氏

取引店／十八親和銀行 諫早中核団地支店

部品のブラスト処理・精密洗浄を行う職人集団

当社は1995年に創業・設立した、半導体などの工業製品の部品や、製品を製造する装置部品のブラスト処理・精密洗浄を専門に行う会社です。長崎県内を中心として九州に工場を持つ企業からも発注を受け業務を行っています。

半導体関連を含めたほとんどの工業製品は、製造工程の中で金属面の表面加工や洗浄作業が必要となります。金属は表面処理を施すことで様々な性質を発揮します。金属をメッキ加工・塗装する場合、メッキや塗装が剥がれにくくするためにはわざと表面をザラザラにしたり、また塗装

せず使用する際は表面をツルツルにしたりすることもあります。

また製造工程により部品は様々な汚れがついてしまうため、汚れを落とす洗浄作業が必要になります。一言に汚れと言ってもエアブローで落ちるものから純水での洗浄で落とすもの、薬品を使用して溶かして落とすものまで様々です。製品・部品を製造する装置も、製造を重ねるうちに汚れが付着するため、メンテナンス時にブラスト処理をしたり洗浄作業を行います。

当社のモットーは「断らない、やってみる」ことです。一口にブラスト処理と精密洗浄と言っても、部品の素材や汚れの内容により作業工程や使用する薬品の組み合わせは千差万別であり、まず適切な作業を行うための手順を見つけ出す

ことから業務が始まります。当社はこれまで培ってきた経験や知見をもとに、対象物に対して最適な作業手順を提案することが可能です。



新設する洗浄工場(左:精密洗浄工場、右:超純水洗浄工場)

超精密洗浄へ参入 新工場を建設

超精密洗浄とは超純水を用いた洗浄方法で、対象物の汚れだけでなく不純物を極限まで洗浄することができる洗浄方法です。超純水は限りなく不純物を取り除き、成分をH₂Oのみに近づけた水です。大気や物質に触れただけで物質を取り込む性質から、別名ハングリーウォーターとも呼ばれています。

今回当社では顧客からの要望に添えるため、超純水洗浄工場と、新たな精密洗浄工場の建設を決定、2025年6月の稼働を目指しています。

超純水洗浄工場では主に半導体関連部品や医療用器具・治具の超精密洗浄を行い、また新設する精密洗浄工場では半導体の製造装置の部品洗浄の増産などを予定しています。

地域の製造業を支援、 地域とともに発展していく

当社の業務は世間一般的にあまり知られていない事業と思います。半面、半導体を含む工業製品を製造する過程において、なくてはならない

業務です。今後とも当社は精密洗浄やブラスト処理の技術を磨き、地域の製造業を支える会社でありたいと思っています。

その上で社員の安全や生活を守りながら、また付近の環境に配慮した事業活動を行っていきたいと思います。



(FFG)ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の証、記念楯を贈呈
(左から赤司社長、十八親和銀行貝津・諫早中核団地支店 山内 前・支店長(現・御本町支店長))

株式会社 ザブ・テック

- 本社所在地：〒854-0209 長崎県諫早市森山町上井牟田1254番地
- 電話番号：0957-20-5066
- 事業内容：鉄・非鉄金属製品、精密部品や半導体などの精密洗浄・ブラスト処理



FFGでは企業のESG/SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
ソリューション事業本部 インダストリーカバレッジグループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2525

サステナビリティに
関することは何でも
ご相談ください